

豊中市では地球温暖化対策の一環として環境にやさしい交通まちづくりを進めています。平成18年度からは、国土交通省のEST(環境的に持続可能な交通)モデル事業の選定を受け、様々な事業や取り組みを行ってきました。今回は、国土交通省等との共催により本市を含む近畿地方でのESTモデル事業についての全体総括をするため、「近畿ESTシンポジウム」を開催することになりました。

近畿ESTシンポジウム



阪急宝塚線「曾根」駅から
東へ約300メートル、徒歩約4分

平成21年1月31日(土)

アクア文化ホール

10:00 ~ 17:00

入場無料



イラスト Fits 石津雅和

1/31(土)

ESTって何?

Environmentally Sustainable Transport

環境的に持続可能な交通の実現を目指し、OECD(経済協力開発機構)が1994年に開始した国際プロジェクトによって提唱された交通政策に関する概念です。

ESD* Education for Sustainable Development

「持続可能な開発のための教育」の略称です。

主催：豊中市、国土交通省近畿運輸局、交通エコロジー・モビリティ財団
EST普及推進委員会、豊中市ESTモデル事業推進委員会

プログラム内容

午前 開会挨拶 10:00

子どもをもつ親の願い 10:15

ー地球にやさしくしてほしいー
「赤ちゃんからのESD」^{*}のみなさん

基調ディスカッション 10:45

『地球のためにできること
ー近畿のそれぞれの取り組みからー』
コーディネーター：土井勉さん(神戸国際大学教授)
パネラー：新田保次さん(大阪大学大学院教授)
中川大さん(京都大学大学院教授)

午後 アフターヌーン
ファンタジー 13:50

エコミュージカル「魔界とぼくらの愛戦争」
東豊台小学校5年生

招待都市(松山市)の講演 14:30

石井朋紀氏(松山市総合交通課)

総括ディスカッション 15:05

「ESTを実現するためには何が必要か(仮)」
コーディネーター：竹田忍さん(日本経済新聞編集委員)
パネラー：土井勉さん(神戸国際大学教授)
松山市
豊中市
国土交通省近畿運輸局

ESTモデル地域によるホスターセッション 16:30